

安全・安心への取り組み・防災対策

東北地方太平洋沖地震の概要

- 発生日時：2011年3月11日（金）14時46分
- 震源地：三陸沖 海底24km
- 最大震度：7（宮城県栗原市）
- 首都高管内：震度5強または5弱
 - ・ JRをはじめ多くの公共交通機関が運転中止となり、帰宅困難者が続出。街路は大渋滞が発生

社内態勢

- 災害対策本部／現地対策本部の設置
 - ・ 14時52分「緊急態勢」を発令し、本社・出先に対策本部を設置
- お客さまへの対応
 - ・ 首都高全線（301.3km）通行止め
 - ・ 文字情報板にて出口へ誘導
 - ・ 発災後直ちに高速上のパトロールを実施し、8件の荷崩れを処理
- 道路構造物への対応
 - ・ 発災後直ちに、グループ会社及び社員による高速上、高架下の点検開始（総勢約300人、車両約110台）
 - ・ 構造物の被害状況を確認し、順次復旧に着手



大黒JCT連結路の路面損傷状況

構造物の主な損傷

- フィンガージョイントの損傷（大黒線）



伸縮継手の損傷

路面養生

本復旧までの経緯

- 地震発生：2011年3月11日（金）14時46分
 - ・ 首都高全路線301.3km通行止め
- 初動対応（中小被害）
 - ・ 緊急点検及び応急復旧工事
 - ・ 安全確認がとれた路線から通行止め解除（3月14日3時00分解除）
- 応急復旧工事（大被害）の対応
 - ・ 詳細点検及び応急復旧工事
 - ・ 荒川湾岸橋（3月22日3時00分開放）
 - ・ 大黒JCT連結路ベント設置（3月27日21時00分仮開放）
 - ・ 復旧までに最大16日間の通行止め
- 本復旧工事（大被害）の対応
 - ・ 仮開放路線について、本復旧工事

- 液状化による路面損傷（湾岸線東扇島付近）



路面損傷（液状化）



舗装補修

- 荒川湾岸橋のガセットプレートの破断



取付部材の損傷



取付部材の取替

計画停電・節電への対応

- 3月13日22時00分
- 交通管理者と節電方針協議（3月14日）
 - ・ 道路照明消灯／トンネル照明減灯
- 湾岸線、大宮線などで実施
 - ・ 3月15日～
- JCT部や事故多発地点、都心環状線を除くすべての路線で消灯
 - ・ 3月17日～
- 節電解除：2011年10月～